

平成30年度北海道男女平等参画チャレンジ賞

【輝く女性のチャレンジ賞】

個人名	牧野准子	現職等	障がい当事者講師の会すぷりんぐ 代表 ユニバーサルデザイン(有)環工房 代表取締役	住所	札幌市
<p>建築士・インテリアコーディネーターとして3人の子どもを育てながら、住環境デザイン会社を興し、充実した日々を送っていましたが、平成17年に脊髄の進行性難病を発症し、車いすユーザーとなりました。</p> <p>障がい者となり自己否定ばかりの時期もありましたが、「できないことを残念だと思ふより、できることをしない方が残念」と気づき、障がいを持った自分だからこそ分かることや伝えたいことがあるとの思いから札幌市社会福祉協議会の障がい当事者講師養成講座を受講し、平成25年修了生有志で「障がい当事者講師の会 すぷりんぐ」を設立。有限会社も再開し、学校・企業・地域などでバリアフリーやノーマライゼーションの普及のための講演活動や行政にも当事者目線での調査やまちづくり提言をさせて頂いております。環境を整えることで、誰もが優しい住みやすいまちになると信じています。</p> <p>また、障がいがある人もない人も共生できる社会のため、「障がい当事者によるスピーチマラソン」や北翔大学生との「一緒にね！文化祭」でのリメイクファッションショーなどを開催して障がい者理解への活動を継続しています。</p> <p>今後も、地域や子ども達の心のバリアフリーを育てるためのお手伝いできればと考えております。</p>					

【輝く女性のチャレンジ賞】

個人名	大海恵聖	現職等	(株)エムブイピークリエイティブ ジャパン 代表取締役	住所	札幌市
<p>3人の子育てをしながら金融機関での仕事を再開したほか、もともと好きだった手工芸の資格も取り、児童会館などを回り子どもたちに教える充実した日々を過ごしていましたが、突然関節リウマチを発症。すべてに「投げやり」になっていた時期もありますが、作品づくりを通じて「私は病気になる前と何も変わっていない。「出来ない」と決めつけていたのは、「自分の心」だったのだ。」と気が付きました。</p> <p>病気になったことで、車いすや杖などの福祉用具に目が行くようになり、「にっぽんの福祉をかわいく」をコンセプトに「デコ杖」の商標登録を行い、事業を開始しました。</p> <p>また、みんなで「ウォーリーを探せ！」のコスチュームを着て、謎解きをしながら街を練り歩く「ウォーリーウォーク」を仲間と共に3度開催しました。車いすでの参加も可能で、街中の市民は「あ！ウォーリーだ！」と言って手を振ってくれます。普段は、見られたくない、じろじろ見てはいけないのではないかと、思っている双方の見えない心の隔たりを自然になくすイベントです。</p> <p>当社の「かわいいもの」が、周囲の人たちとの会話のきっかけや、人の心の壁を取り払って交流するためのツールとして役に立てたら本当に嬉しいです。</p>					